

浦和競馬こども基金助成事業実施要領

(趣 旨)

第1条 この要領は、社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会浦和競馬こども基金設置規程（以下「規程」という）第6条第2項の規定に基づき、必要な事項を定めるものとする。

(助成の対象者)

第2条 助成交付対象者は、県内の子どもに対する支援活動を実施する団体（二人以上の者が共同の目的を達成するために結合した集団のこと。）及び法人（以下「団体等」という）とする。ただし、国及び地方公共団体は対象外とする。

2 前項における助成交付対象者は、埼玉県社会福祉協議会（以下「本会」という。）が行う基金助成事業において、当該年度及び前年度に交付を受けていない団体等とする。

(助成の対象となる事業等)

第3条 規程第6条第1項第1号に定めるこの基金による助成対象事業は、概ね20歳未満の次の（1）から（11）の子どもたちを対象とした事業とし、予算の範囲内において助成する。

- （1）経済的に支援の必要な子どもたち
- （2）食事に困る子どもたち
- （3）不登校や引きこもりの子どもたち
- （4）児童養護施設・自立支援施設等に入所している子どもたち
- （5）里親の元で暮らす子どもたち
- （6）一人親家庭の子どもたち
- （7）病気や障害を抱える親の元で暮らす子どもたち
- （8）障害を抱える子どもたち
- （9）医療的ケアを必要とする子どもたち
- （10）虐待を受けてケアが必要な子どもたち
- （11）上記のほか、支援が必要と認められる子どもたち

2 第1項の事業のうち、国又は地方公共団体が団体等に対して委託した事業については対象外とする。

3 助成事業の募集に当たり、本会会長は年度ごとに重点テーマを設定し、募集することができる。

4 助成対象経費及び助成額は、別表のとおりとする。

5 助成事業の実施期間は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(助成金の交付申請)

第4条 助成金の交付を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、様式第1号の申請書及び関係書類を、本会会長に提出しなければならない。

(助成金の審査)

第5条 本会会長は、助成金の交付を決定するときは、あらかじめ浦和競馬こども基金助成事業審査委員会（以下「審査委員会」という）の審査を受けるものとする。

2 本会会長は、審査委員会の意見に基づき助成金の交付を適当と認めたときは、様式第2号の交付決定通知書を申請者に交付するものとし、それ以外のときは、助成金の不交付の旨を通知するものとする。

(助成金の使用制限)

第6条 助成金の交付を受けた者は、助成金の交付の対象となった事業以外の事業に助成金を支出してはならない。

(助成事業の内容の変更)

第7条 助成金の交付を受けた者で、助成事業の内容を変更する場合には、事前に本会会長に申し出なければならない。

(助成金の返還)

第8条 次のいずれかに該当する場合は、助成金の全部又は一部について返還を命ずるものとする。

- (1) この助成金を助成対象事業の目的に反して使用したとき
- (2) 助成対象事業に関して虚偽の申請又は報告をしたとき

(実績報告)

第9条 助成金の交付を受けた者は、事業の完了後30日以内に、様式第3号の実績報告書を本会会長に提出しなければならない。

(委任)

第10条 この要領に定めるもののほか、助成金の交付に必要な事項は、別に定める。

附 則

この要領は、平成31年3月11日から適用する。

別表 要領第3条第4項関係

対象経費	助成額
<p>事業実施のため、直接的に必要な次の経費</p> <ul style="list-style-type: none">○講師等謝金○旅費交通費○会場費○食料費○物品借上費○通信運搬費○印刷製本費○消耗品費○資機材購入費○その他本会会長が認める費用	<p>原則10万円以内。 ただし、本会会長が必要と認めた事業については、10万円を超えることができる。 なお、対象経費に他の補助金等が充当されている場合には、その補助金等の額を減じて助成する。</p>

※団体等の運営に係る経費については対象外とする。